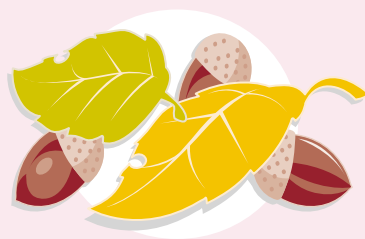




須恵

sue
2005



「輝きながら」(町立南幼稚園運動会)

須恵町議会だより 153号

141億3,015万円平成16年度決算を認定!...2

ここが聞きたい(一般質問).....4

追跡(一般質問のその後).....14

町のリーダー(須恵町青少年指導員会会長にインタビュー).....16

9月定例会

主な内容

町のリーダー 第15回

さん



須恵町青少年指導員会会長
青木 三男 氏

できる限り各班の活動に参加するようにしておりますが、仕事との関係で無理なこともあり、職員の方々の協力で努めさせていただいております。

今後の抱負を

お願いします。

また、小・中学校、高校、各種団体および交換と情報交換をして、連携をとり活動に生かしております。

須恵町の各種団体、施設などの代表者にインタビュー、今回は、須恵町青少年指導員会の会長さんです。

自己紹介を

お願いします。

辰年生まれ、五三歳です。一番田区に住んで二十三年になります。ホームセンターを回って工具などを見るのが好きです。昨年からは青少年指導員の会長を仰せつかりました。

青少年指導員会とはどのような団体ですか。ボランティアで青少年健全育成および非行防止活動を地域一体として行う団体です。

昭和四十八年に初代の江藤会長が青少年指導員会を立ち上げられ、貝野会長、平野会長と受け継がれ、私で四代目になります。役員五名と指導員四十名で構成され、三班編成で夜間パトロール、環境不良浄化作業、非行防止活動をしております。

今後の抱負を。地域一体となった非行防止活動を行うていくには、さらなる校区コミュニティ、学校、PTAとの連携協力を積極的に進めていき、犯罪・非行のない須恵町を目指したいと思っております。

議会に何か要望されたい

ことがありますが

夜間パトロールをしていて感じた点として、街灯がまだまだ少なく、場所によっては真つ暗なところも多々あります。費用などいろいろ難しいところがあると思いますが、安全のためですの増やしていただくようお願い致します。



落書き消し作業中の青少年指導員会

編集後記

「ここ最近、私の眼は赤く、そして顔は痛みを感じている。というのも畑に沢山できた唐辛子を干したり、生のまま柚子と混ぜて柚子胡椒を作ったりしているからです。唐辛子を胡椒と呼ぶのは九州の一部だそう、全く柚子胡椒を知らない人は唐辛子だとは思えないからです。」

若い人達には唐辛子の辛味成分のカプサイシンが美容やダイエットに効果があるということ、自分専用の唐辛子を持ち歩く人もいます。これから寒くなる季節、湯豆腐、鍋物に、痛い思いをした分、おいしく頂きたいと思っております。

緒方 義人

名前のとおり唐辛子は唐(中国)より伝わった辛子という意味で、胡椒も胡(中国の民族)より伝来したものです。唐辛子が伝来する以前では胡椒が辛味の調味料として多用されており、うどんの薬味としても用いられていたそうです。また、お隣の国、韓国は唐辛子を使った辛い料理が有名ですが、九州地方より伝わったといわれており、韓国では日本から伝わった、倭(日本)辛子と呼ばれていたそうです。



開会を宣言する長澤議長

平成17年第3回定例会は、9月13日から9月22日までの10日間で行われ、提案された25件の議案、諮問1件、意見書1件については、原案のとおり可決、承認されました。

なお、継続審査となっていた請願1件については、取り下げられました。

十六年度決算

平成十六年度一般会計は、減税補てん債の三億七千八百八十万円について起債の借り換えを行っており、その分、歳入歳出ともに決算額が増加しています。

歳入から歳出を引いた実質収支額は二億七千八百七十五万円となりましたが、十六年度実質収支から十五年度実質収支を引いた単年度収支は一億九千五百四十二万円の赤字、さらに財政調整基金(町の貯金)を一億三千二百万円取り崩してありますので、単年度収支に実質的な赤字要素や赤字要素を加減した実質単年度収支は四億一千五百一十円の赤字決算となりました。

歳入では前年度に比べ、町税が〇・九%の微増、三位一体の改革の影響を受け、地方交付税が四・六%減少し、経常一般財

源の減少に加えて、公立保育所運営費国庫、県負担金の削減等により、經常収支比率は九二・一%と前年度に比べ八ポイントと三年連続で大幅に悪化し、財政の硬直化が一層顕在化してきております。

平成16年度各会計決算内訳

会計区分	歳入	歳出	差引額	
一般会計	75億5,732万円	72億7,857万円	2億7,875万円	
国民健康保険特別会計	22億1,738万円	22億1,070万円	668万円	
老人保健特別会計	22億0,011万円	21億9,822万円	189万円	
奨学資金特別会計	322万円	5万円	317万円	
公共下水道事業特別会計	11億4,973万円	11億4,520万円	453万円	
農業集落排水事業特別会計	8,872万円	8,430万円	442万円	
水道事業	収益的支出	4億5,855万円	4億4,374万円	1,481万円
	資本的支出	6億4,323万円	7億6,937万円	1億2,614万円
計	143億1,826万円	141億3,015万円	1億8,811万円	

全国的にどの市町村とも經常一般財源の確保が非常に困難になってきているなか、本町も財源不足を基金の取り崩しによ

り収支のバランスをとっている状況です。

歳出において人件費は前年度に比べ二・七%減少したが、扶助費の障害者支援費制度の権限委譲に加え児童手当支給基準の改定の影響や保育所費の増加により一五・五%と大幅に増加しています。繰出金では、公共下水道事業特別会計への繰出しを始めとして、国民健康保険、老人保健、介護保険事業等への繰出金が一七・三%増加しています。

その他、清掃施設組合、消防組合等への負担も八%増加しており、繰出金や一部事務組合負担金の増加が、本来必要十分であるべき一般行政経費を圧迫する結果となっています。

限られた財源の中、主な事業として、交付金を利用した西原、酒殿線を始めとする道路整備事業、第一小学校給食室改造、第三小学校グラウンド改

修、運動公園の張り芝工事等の教育施設整備を行いました。

また、須恵パーキングエリア・スマートインターチェンジの社会実験事業を開始できたことは十六年度の大きな成果でした。

水道事業については、十六年度の降雨量は、前年比一%減の平年並みでした。

事業としては、第六次拡張工事が二年目を迎え、海水淡水化事業等による受水のための配水池が完成し、最終年度となる平成十七年度は、ろ過池等残りの工事を行い完成を目指します。

不況下で、法人等の水道使用料の漸減が顕著となり、四年連続の収益減収となりました。

「三位一体」の改革が進行していく中、国庫補助負担金の削減と地方交付税の縮減に替わる財源措置としての税源移譲が



十七年度補正予算

どこまで本町にとって有効な財政措置となるか否かは予断を許さない情勢であります。

地方にとっては今後も引き続き非常に厳しい財政運営を迫られています。より良い町づくりのため、須恵町としての健全な財政運営に意を尽くすよう要望しました。

(全員賛成で認定)

一般会計(第二回)、国民健康保険特別会計(第一回)、公共下水道事業特別会計(第一回)、農業集落排水事業特別会計(第一回)、水道事業会計(第一回)の補正予算が提案されました。

主なものとしては、東原ため池改修工事、スマートインターチェンジ社会実験事業費の追加、公

平成17年度 歳入歳出補正予算 (単位:千円)

会計	歳入・歳出	補正額	予算総額
一般	歳入	35,112	7,184,464
	歳出		
国民健康保険	歳入	8,627	2,335,251
	歳出		
公共下水道事業	歳入	238,665	1,275,593
	歳出		
農業集落排水事業	歳入	2,000	90,395
	歳出		
水道事業	収益的支出	1,836	563,161
	資本的収入	33,000	609,118
	資本的支出	33,000	711,240

共下水道事業特別会計への繰り出し金、上須恵区公民館改修等の類似公民館及び組合集会所新増築等補助金、コミュニティ助成事業備品購入費等となっています。

(全員賛成で可決)

請願の取り下げ

旧東京ゼネラル(株)グラウンドを公共用地として確保を求める請願の取り下げ
本請願は、競売中である本物件を町において公共用地として購入を願うもので、閉会中の継続審査の取り扱いをしていましたが、このほど沖繩の会社による購入が決定したため、請願者より本請願の取り下げの申し出がありました。



大牟田リサイクル発電へRDFを供給している須恵町外二ヶ町のごみ処理施設「クリーンパークわかすぎ」

(全員賛成で可決)

意見書

大牟田リサイクル発電事業についての意見書(案)

この事業は、当初から焼却灰の再資源化に失敗し、RDF処理委託料が大幅な増額になり、参加自治体に大きな負担を負わすことになりました。

また、大牟田でも事故が相次いで発生し安全対策が大きな課題となっています。

更にメーカー側の保証期間が過ぎ、補修や取替え整備に要する費用のためにRDF処理委託料の再改定が検討されています。

RDFを供給する施設でも当初予期していなかったランニングコストがかかっており、参加自治体としてこれ以上の負担

には耐えられません。よって大牟田リサイクル発電事業を計画段階から一貫して指導し、最大の出資者でもある福岡県は、経営責任を果たすべく誠意を持って、対処されるよう強く要請します。

提出議員 稲永 信英
賛成議員 柴田 真人
(全員賛成で可決)
福岡県知事へ送付しました。

財産組合議員

糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合議員の選挙が行われ、指名推薦で稲永 信英 議員が当選人と決定しました。
任期は、平成十七年十月二十五日から四年間です。



稲永 信英 氏

監査委員

任期満了による監査委員の選任について、本園 建雄 氏(新原区・六五歳)が再任されました。
任期は、平成二十一年十二月二十一日までです。その他の議案として、



本園 建雄 氏

人権擁護委員

丸山 信幸 氏(山の神区・五六歳)が人権擁護委員への再任の推薦があり、議会より答申することに決定しました。
任期は、法務大臣が委嘱した日から三年間です。



丸山 信幸 氏

その他の議案

須恵町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正
平成十七年度一般会計補正予算(第二回)の専決処分
福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増減及び福岡県市町村職員退

職手当組合規約の変更
福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体数の増減
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体数の増減
福岡県介護保険広域連合を組織する市町村数の増減及び福岡県介護保険連合規約の変更

等について、慎重審議が行われ、全員賛成で可決しました。

また、閉会中の議会活動として、

粕屋南部消防組合議会
須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会
糟屋郡五町ブロック廃棄物処理対策協議会
ぼた山開発推進協議会の報告がそれぞれ行われました。

町財政 弾力性を

失いつつ硬直化進行

平成十六年度決算審査意見書要旨

平成十六年度須恵町一般会計、特別会計ならびに水道事業会計について、監査委員による決算審査が七月に実施され、その結果が意見書として九月一日、町長に提出されました。

一般会計

当年度の一般会計の実質収支は黒字であるが、単年度収支では一億九千五百万円の赤字、実質単年度収支でも四億一千百万円の赤字となっています。

財政収支の均衡を示す実質収支比率は前年に比べ改善されています。しかし、十六年度末での町債の残高は八十億円となっており、厳しい財政状況下にあることから

今後一層、諸経費を削減するとともに、施策の緊急度を的確に把握し、行政の簡素化・効率化に努め、将来を展望した計画的な行財政運営によって健全財政の推移を図ることが重要であると考えられます。

国民健康保険

特別会計

歳出における医療費の伸びは年々増加を続けており、これに歳入が追いつかない状況であります。歳入の確保とともに、

いかに歳出(医療費)を抑えるかが今後の大きな課題であります。

当町においては給付費の削減につながる保健事業の一環として、各種健診による早期発見・早期

治療の推進及び各種予防対策事業の実施、また適正受診を図るための重複・多受診者への指導等が行われていることは適切なことで、健康対策さらには保険財政の健全化につながるものと考えられるので一層の努力を望みます。

老人保健特別会計

本町での六五歳以上の方は、四千人を超え、高齢化率は一六・二二%となり、着実に超高齢化社会へと進んでいます。

十六年度の老人保健対象者及びその受診件数は、前年に比べ若干減少しているものの一人当たりの費用及び全体での医療費は増加しています。

今後なお一層の予防事



町長に決算審査意見書を提出する本園監査委員(写真中央)と今村監査委員(写真左)

業の推進を図り医療費抑制に努力されるとともに高齢者が生きがいを持つて健康で暮らすことができれば、より事業に力を注げるよう希望します。

公共下水道事業

特別会計

重要なインフラ整備事業として平成三年より工事に着手し、進められて

いるところですが十六年度末の普及率は三三・六%とまだまだ他町に比べ低い状況にあります。本事業は、今後とも長期的かつ多額の費用を要するものと考えられるが、地域住民の生活環境の改善のため鋭意努力されることを望み、また事業の推進に当たっては経費面を考慮した効率の良い事

業展開をお願いしたい。

農業集落排水事業

特別会計

現在は維持管理業務が主なものとなっています。今後は維持管理に係るコストの問題が懸念されるところであり、コスト削減については十分留意されるよう望みます。

水道事業会計

給水人口の増は微増にとどまっている一方、水需要の変化等による給水収益の減少傾向は今後も続くものと考えられます。現在、浄水場の第六次拡張事業や下水道事業に伴う配水施設整備事業等の継続事業に多額の資金を必要とし、経営を圧迫しています。

今後は長期的な対策を検討するとともに、当面、経費の節減と資産の効率的な運用に努め、計画的な財政運営によって経営の安定化を図ることが望まれます。

ここが聞きたい!!

4人の議員が登壇!



答弁中の中嶋町長



森 勝己 議員

問 アスベストによる健康被害の実態が明らかになるにつれて大きな社会問題となっております。こうした状況を受け、政府は七月二十九日、被害の拡大防止、国民不安の対応実態把握の強化を柱とする当面の対応を発表しました。公共施設、学校施設などアスベスト使用の可能性があるわけですが、使用実態や健康被害の調査また、施設ばく露防止対策については、どのように行うのか。

問 アスベスト 対策は

答 国の動向を見据えていきます



稲永 信英 議員

問 アスベストの毒性の強さに、今さらながら衝撃を受けています。既存の建築物等に含まれ使用されているアスベストが解体時に飛散して周辺の人々の呼吸器官に侵入し、ガンの一種である中皮腫などの発症原因となる危険性があるとされています。幼稚園、小・中学校等の公共施設の使用状況はどうなっているのか。発生源とも言うべき製造工場等は町内にはないと思うが、工場等の使用調査や一般住居の壁面や配管等に対する使用状況調査などの対策に手を打っていくべきではないかと思えますが如何でしょうか。

答 本町の学校等の公共施設については、調査済みです。十六施設中、九施設においては当初よりアスベストを使用していない施設で、残りの七施設についてがアスベストを使用した建築物です。その内、幼稚園・保育所・学校については、文部科学省の非常に厳しい指導により、改築等に伴い早くから飛散防止対策がとられているため、問題はありません。しかし、一番問題なのが健康広場にある管理棟で、道具入れとシャワールームの屋根に大量に吹き付けられたアスベストがあります。現在は使用を禁止していますが、トイレの改修を含め、管理棟全体の改修を行う時点での除去を考えており、その対策を早急に講じるようにしています。

問 アスベストに関する健康問題・労働問題、建築物に関する事、解体作業に関する事、アスベスト建材等の処理に関する事等の各種相談・情報については、すえまちのホームページにおいて窓口となる機関や電話番号をお知らせしています。現在、国の段階としては、環境省と厚生労働省とでアスベストの健康被害に対する新しい法律の骨子が出来上がったというところですが、まだ明らかになつてはおりません。一般家庭あるいは工場等に対する調査費用についてもなかなか予算化が難しい状況であり、国の動向を見据えていきたいと考えています。



アスベストにより一部使用が禁止されている健康広場管理棟

一般質問



藤石 豊 議員

問 合併への思いはどこに

答 住民本位で進めていきます

須恵町の行財政改革は庁舎内の子育て支援室の設置や敬老祝い金の削減等の取り組みに見られるよう、少しずつ実践されて来ているように思います。しかし、昨年の三月、三町の合併協議会への移行が不調に終わってからは、早一年半が過ぎました。合併問題に対する意識が薄れつつある今日、将来の須恵町の生き残る道をもつて一度考えなければならぬ時期だと思えます。合併に対する町長の今の考えを聞きたい。

問

首長レベルでつくっていただきます。明日の粕屋を考える会の会合が先日開かれましたが、合併についての新法の内容あるいは新法によって国がどのように進めていくのかが見えないことから、次回は県の合併支援室の方を迎え、新法についての学習会を深めていくことになっていきます。この合併につきまして、首長がどうだということよりも新しいまちづくりを、新しくなる市民あるいは町民の人たちがどのように参画してどのようなまちづくりをするかということが最大の課題と捉えています。合併は目的でなく、合併を手段としてこれからのまちづくりを考えるということですから、早くこの問題に取り掛からなければならぬと考えています。

答 中嶋 町長



どうなる？合併問題



今村 桂子 議員

問 岳城風景案内板設置及び観光マップ作成を

答 準備に取りかかっています

答 中嶋 町長

岳城は、皿山公園から五十分で登れる好位置にあり、健康づくりに利用者の多い山です。素晴らしい眺望をもつ山上に風景案内板を公園上り口に山上までの正確な距離、時間などの表示板を設けることで更に利用者も増えると思います。また、皿山公園からの登山道の途中に、低い位置から、中くらの高さから岳城展望台からの三箇所程度の休憩・眺望スポットがあれば、更に登山を楽しめます。また、須恵町には眼の治療院跡、宿場跡、須恵焼窯跡等、歴史的スポット、皿山公園、岳城、久我記念館、歴史民族資料館、ほたるの湯等の観光



風景案内板の設置が要望されている岳城展望台

スポットが点在しています。観光マップ等を作成し須恵町での楽しい一日を紹介し、お土産に味噌、すえのパンの利用拡大もはかっていたきたい。

眺望については、間伐等の作業を行うよう産業振興課の方で計画をしています。また、登山道についても除草等を行い、爽快な気持ちで山に登っていた

だくように考えています。案内板・表示板については、前からの要望であったため、現在の準備に取りかかっています。観光マップは、現在使用しているものがありませんが、テープ案内等の耳で聞く須恵町の案内等も含めて検討していきます。自然と観光、そして町おこし、これがつながっていくれば一番だと思います。須恵町の特徴を生かした町おこしをしていく必要があるため、行政だけでなく町民皆さんの参画を得ながら今後検討していきます。

委員会レポート 建設産業委員会

熊本橋に近い一番田十組、十一組、十三組の面整備です。
工事長一、〇八メートルで開削工法で硬質塩化ビニール管二〇〇ミリを深さ二メートルに埋設するものとっています。

人孔三箇所、附帯工事
一番田地区
管渠築造工事

須恵区の松ヶ浦地区でゼネラルアサヒ印刷団地横の面整備です。
工事長二二五メートル開削工法で硬質塩化ビニール管二〇〇ミリを深さ一メートルから一・五メートルに埋設するものとっています。

人孔三箇所、附帯工事
須恵地区
管渠築造工事

国庫補助事業の要望確定による追加工事です。

下水道工事

工事

ものです。

人孔三五箇所、附帯工事
甲植木地区
管渠築造工事

大塚池より東中学校に向かい、筑紫野古賀線の高架手前までの面整備です。
工事長三九七メートルで開削工法で硬質塩化ビニール管二〇〇ミリを深さ二メートルから二メートルに埋設するものとっています。

人孔一〇箇所、マンホールポンプ一箇所、附帯工事
甲植木地区及び山の神地区の一部分で、委託面積一四・七ヘクタール、測量面積一四・七ヘクタール、設計延長四、一四四メートルとなっています。

実施設計測量業務委託

補償費
須恵地区、一番田地区、甲植木地区の管渠築造工事に伴う水道管切替工事の補償費となっています。



現場説明を受ける建設産業委員会

事業費は、二億三千二百万円、財源内訳としては、国庫補助金五千八百万円、町債一億六千二百四十万円、一般財源一千六百六十万円となっています。
(全員賛成で可決)

事業費は、三千九百万円、一般財源です。
うち、三千三百万円を下水道の方からの補償費として受け入れ、工事施工していきます。
(全員賛成で可決)

下水道工事の国庫補助事業の追加工事に併せて水道管切替工事を行うものです。
須恵地区水道管切替工事は、工事長七三メートル、一番田地区水道管切替工事は、工事長一、〇一四メートル、甲植木地区水道管切替工事は、工事長三九七メートルで、硬質塩化ビニール管、ポリエチレン管、ダクタイル鉄管等を埋設します。
下水道工事施工前に水道に係る仮設配管を行い、本管は下水道管理設後に下水道掘削断面内に布設していきます。

委員会レポート 総務文教委員会



新庁舎、国内有数のシステムを完備して完成!



粕屋南部消防署 新庁舎

総務文教委員会で南部消防署新庁舎を視察しました。
粕屋南部消防本部は、昭和四十八年に須恵・宇美・志免の南部三町の組合で設立し、昭和六十一年、粕屋・篠栗・久山の中部が加入し現在に至っています。

平成三年には中部消防庁舎が自治会館を兼用して建設され、現在は二つの消防署に、十一台の消防車、五台の救急車を保有し、百三十三名の署員が、六町(総面積一四五・七〇平方キロメートル、総人口約十八万人(約六万六千世帯))の生命・



消火体験を行う総務文教委員

財産を守っています。
庁舎は、国の新しい耐震基準に合わなくなったこと、老朽化していること、数回の増築により使用しずらくなったこと、また通信司令室のシステム・規模が基準を大幅に下回っていることから建て替えに至りました。
新庁舎は、面積規模も拡大し、通信指令室は全国的にも有数のシステム・規模を導入し、使用しやすくなっています。
また、「五つのトライ・七つのスタディー」と称して平日の九時から十七時まで、誰でも自由に見学ができます。

事前に申し込めば、シブアター・地震体験・風体験・消火体験・煙体験・通報体験」等ができる防災センターを併設しています。
助かるはずの命を救うために、
先般、粕屋南部地域防災協会主催による、屋内消火栓・消火器操作大会が、中部消防署において延べ三十一チームの参加で行われました。
また、同大会のアトラクションとして、AED(電気的除細動)デモンストラクションが行われました。



南部消防署新庁舎 通信指令室

これは、電気ショックにより心臓のけいれんを除くもので、安全な機械の開発により、一般の人でも講習を受けると使用できるようになりました。
須恵町でもこの機械を購入し、消防団員等多数講習を受けています。
まだ機械数、受講者数とも少ないので、除々に増やしていきたいもの向上につながって欲しいものです。

委員会レポート 環境福祉委員会

自然食普及センター

問 自然食普及センターが、平成十五年に皿山公園よりボランティアセンターに移っているが、売上げ等は。

答 萩 保健環境課長
十六年度決算でみると歳入は、二千五百九十九万円、歳出は、二千九百九十四万円で、差引くと三百九十五万円の赤字となっておりますが、これは味噌加工所の屋根瓦修理と味噌蔵の設置に四百一



ボランティアセンター内 自然食普及センター

十八万円かかったため、その工事費を除くと三十三万円とわずかですが、黒字となっております。

より一層の自然食の普及に努めたいと考えています。

また、十一月より定休日が毎週火曜日から毎週日曜日に変更になります。これからも更なるご利用をお願いします。

介護保険制度改正に伴う地域支援センターの設置

問 今回の制度改正の一番の目的は。

答 吉松 福祉課長
年々一〇%ずつ増え続ける介護給付費を抑制することです。

予防重視型システムの転換として、新予防給付の創設、また地域支援事業の創設、新たなサービス体系の確立に向けて、地域包括支援センターの創設があります。

問 地域包括支援センターとは。

答 吉松 福祉課長
公正・中立な立場から地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に援助することを目的とします。

地域における総合的なマネジメントを担う中核な機関として、介護予防マネジメント事業、総合相談・支援事業、虐待防止・権利擁護事業など社会福祉士、保健師、ケアマネジャーがそれぞれ、包括的に地域の高齢者をサポートします。

基本的にこの地域包括支援センターは、市町村に設置することになっていますが、福岡県介護保険広域連合は、広域連合の各支部に設置する事に決定しました。現在、須恵町では比較



介護予防事業「南米里区ミニデイサービス」

的虚弱な高齢者を対象に介護予防対策事業を進めてきました。行政区で実施していた「ミニデイサービス」介護予防対策、ボランティアセンターで開設している「わくわくデイサロン」、保健センターで実施の「リハビリ教室」等ですが、今回の介護保険制度の改正に伴い、新たな介護予防事業を実施することになります。

町単独で実施している既存の介護予防対策事業の見直しを行い、地域密着型サービスの整合性を図りたいと考えています。それには、介護予防事業と老人保健事業との関連が非常に大切になりますので、保健環境課・福祉課等、関係課の連携を密にしながら須恵町の特異性を生かした地域密着型の構築に努めていきたいと思います。

9月議会を終えて



議長 長澤 誠司

今議会は、平成十六年度の一般会計の決算についての審議が主なものとなりました。

十六年度、歳入の町税は十五年度に対し〇・九%と微増ですが地方交付税はマイナスイ千二百八十一万七千円と四・六%の減額で、財源の確保が非常に困難な状況です。十六年度は、その財源不足を補うために財政調整基金を二億三千二百万円を取り崩す結果となりました。

三位一体の改革の影響で地方交付税、国・県からの補助金が削減され、この減少傾向は今後も続くものと思われま

す。この危機的な財政事情に対処するため、町執行部、町職員と一体となって町民皆様の理解を得ながら行財政改革に取り組んでいかなければならないと思っています。会期中に全員協議会が開催され、その中で議員定数の削減案についての提案が出されたので、今後、協議が続くものと思われま

す。また、平成十五年四月に知的障害者就労支援事業として開設された小規模作業所「福祉工房」に関して執行部より説明がありました。



「亀のパン」「すえのパン」

内容としては、須恵町と(株)ナガタとの間で締結していた「亀のパン」の事業運営に関する業務委託契約が、八月末日をもって解除になったため、九月十五日から名称を「すえのパン」に変更し、心機一新再出発をしたこと。諸々の準備期間が必要となつたため九月一日から九月十四日まで休業し、住民の皆様大変迷惑をかけたこと。

宅配サービスが十月一日より再会できるよう準備を進めていること等でした。

また、「福祉工房」に要する歳入歳出決算も報告され、知的障害者就労支援事業の重みと苦労を再認識しました。議会としまして、更に理解を深め、支援体制の確立に努めてまいりたいと思

町長報告



町長 中嶋 裕史



須恵パーキングエリアスマートインターチェンジ

須恵パーキングエリアスマートインターチェンジ社会実験延長決定

平成十六年度十二月十八日より九州自動車道の須恵パーキングにおいてスマートインターチェンジ（日）まで実験期間を延長することにいたしました。

恒久化へ向け、上り線入口の整備、井尻線の改百台の利用でしたが、十良、大型車進入要望等、七年九月には最大の二千四百五十台の利用があつており、全国でも上位の利用台数となっております。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

追跡

一般質問

執行部の答弁は、実行されているか？ 問のその後

過去一年間の一般質問の状況を追ってみました。



道路改良が予定されている乙植木～平原線

問 「乙植木～平原線の道路改良を」
乙植木～平原線の一部区間が未整備のままで、穏やかなS字カーブになっており交通量も多く非常に危険な状況です、改良整備が望まれておりますのでぜひ実施・検討を。

答 中嶋町長
下水道工事の予定があり、下水道工事と合わせた形で計画をしています。

[検討の結果]

施工計画に伴う測量設計業務を六月末に委託契約発注しています。

問 「国民健康保険証のカード化の推進は」
将来のカード化に向けての形態や費用面の研修・研究が始まったと聞いているが、今後の実施見込みは、また早期実現ができないものか。

答 安部住民課長
一人に一枚配布することで非常に便利な面もありますが、紛失等による事故等も発生しますし、多大な費用も伴います。
国保連合会等関係団体と連携を図りながら、粕屋地区国保担当課長会等でカード化に向けてさらに検討していきます。

[検討の結果]

八月に粕屋地区担当課長・主務者会を開催し保険証のカード化について検討しました、各町とも検討段階であり、いくつかの問題点があることから、現在福岡県で実施している久留米市と、十八年十二月から実施予定の福岡市に十七年度中に視察することを計画しています。

問 「学校の安全対策の改善は」
大阪府寝屋川市中央小学校で起きた教職員殺傷事件をきっかけに、学校の安全対策が再び大きな問題になっています、学校の安全対策の改善はどのようにされたのか。

答 東教育長
学校の安全管理全般について「危機管理マニュアル」の見直しや改善を行うよう学校長に指示しています。
防犯機具の配備、防犯訓練の実施等についても指導していきたいと考えています。

[検討の結果]

携帯電話へのメール配信は、志免町の運用状況を見守りながら検討していきたいと考えています。
防犯訓練は、昨年度から各学校で実施、年一回以上実施するように指導しています。
粕屋地区学校警察連絡協議会を通じて学校周辺のパトロール強化を要請しました。
各学校に「子どもの安全サポーター」のようなボランティア活動を展開していただくよう働きかけています。
ステッカーは十七年三月に百五十枚を作成しましたので、公用車等へのステッカー貼付についても引き続き実施します。



設置工事が進んでいる避難場所の標識

問 「福祉の広報充実を」
点字による町報・議会だよりは発行されていません。便利な福祉用具の紹介等も充実されていません。障害者の方々に福祉の情報の提供・充実を。

答 中嶋町長
障害者に優しい行政として緊急性を必要とするところから実施します。
今後、総合的に福祉問題についての基本的な方針を出していかなければならないと思っています。

[検討の結果]

「福祉の広報」につきましては、〔保健・医療〕〔高齢者・障害者福祉〕〔介護保険制度〕〔国保・年金〕〔保健・予防〕〔子育て支援〕等の利用、サービス内容の冊子を作成し、各家庭にお届けしたいと思います。
現在関係所管課で調整を行い、今年度中に発行したいと考えています。

問 「高齢者などの災害弱者の緊急対応策は」
阪神・淡路大震災から十年目を過ぎましたが、この災害で犠牲になった方々の半数以上が、自力で非難することができない高齢者や障害者という災害弱者と呼ばれている方々です、災害弱者に対する緊急対応策はどのようにされるのか。

答 中嶋町長
地域の人たちの結びつきを強くしていくということが大事なことだと思います、地域での防災組織づくりを推進していきたいと考えます。
避難場所の標識及び誘導灯の設置については十七年度に設置予定です。

[検討の結果]

須恵町地域防災計画も策定され、地域での防災組織づくりの推進策について検討中です、避難場所の標識及び誘導灯の設置は現在工事中で十月末完了予定となっています。

町議会の活動の状況を知るために、どなたでも傍聴できます。
申込みの受付は、役場4階議会事務局で行っています。
なお、次の定例議会は、12月13日からの予定です。
広報特別委員会
委員長 緒方 義人
副委員長 森 勝己
委員 今村 桂子
委員 長澤 誠司